1 適用範囲
EM-1
最終改定日 2020/4/1

1 適用範囲

東京都市大学 横浜キャンパスの概要

21世紀においては、自然環境との調和と共生のとれた、望ましい社会環境を創造することによって、社会の持続的発展を図らなくてはならない。また、国際交流と協力がますます強まっている今日、われわれをとりまく自然環境・社会環境・文化環境とともに、それらにかかわる情報について十分理解する必要がある。

そのためには、急速に発展している高度な情報技術を積極的に利用できる人材を育てなければならない。さらに、社会の持続的な発展に寄与し得る企業経営などマネジメントの新たな手法を構築する必要がある。

そこで、人間と環境と情報のかかわりを学際的にとらえ、人間社会と地球環境の調和を目指す<環境と都市><環境とマネジメント>の分野については、平成25年4月に設置した環境学部での教育・研究を行う。また、人間社会が情報技術の進化と調和し持続可能な発展を目指す「情報エコロジー」という世界をリードする思想を基本とした<情報システム>と<情報社会>の分野については、同平成25年4月に設置したメディア情報学部での教育・研究を行い、人間や社会とメディア情報のあり方を<人間と情報>のテーマから探求する。両学部は、ともに問題発見・解決能力を備えた人材を育成するために、東京都市大学横浜キャンパスに設置した。また、環境問題・情報環境に関する高度な知識や実践的な解決技法を身につけ、幅広い視野に立つプロフェッショナルの育成を行い、フィールド研究や実学的研究を重視し、企画・立案、問題解決を目的とした、大学院環境情報学研究科を平成13年4月に設置した。平成15年9月には、文部科学省の新規事業である「特色ある大学教育支援プログラム」に採択された。この教育支援プログラムをISO14001で要求されるPDCA活動と連携させ環境教育を推進し、地域に開かれた「環境教育の拠点」を目指す。